

投稿年月日	令和 2 年 11 月 13 日	投稿者	市内在住 70 代 男性
ご意見・ご提案内容	「M I N A コイン」 南島島原市は来年 MINA コイン事業を始めるようだが、その詳細を教えてください。 「地域通貨」 南島原市では地域通貨 MINA コイン事業を始めるようだが、全国の例で成功している事例を教えてください。 「電子地域通貨」 電子地域通貨のメリット・デメリットを教えてください。 「M I N A コイン事業」 M I N A コイン事業は評判が悪いよ。それに代わる事業を考えるべきだろう。例えば、年寄でも利用できるプレミアム商品券の発行はどうだろうか？		
回答	M I N A コインは、スマートフォンを使った電子地域通貨(=電子マネー)で、市内の加盟店でのみ利用が可能な市内限定の電子マネーです。チャージされたコインやポイントは市内の加盟店でのみ利用が可能となりますので、市内での資金循環拡大を通して地域経済活性化を目指しています。サービス開始は令和 3 年 2 月を予定しています。 次に成功事例ですが、先進事例として岐阜県飛騨市、高山市、白川村で利用されている「さるぼぼコイン」、千葉県木更津市の「アクアコイン」があります。いずれの地域とも自治体と銀行が連携した取り組みを行われており、本市も同じシステムを導入します。現在、先進地域と意見交換を行い、様々な事例を参考にさせていただきながら、事業開始への準備を進めております。 最後にメリットですが、利用者はチャージする毎にチャージ額に対して 1% のポイントを付与されお得です。キャッシュレスでの決済ですので、手ぶらで簡単に、金銭のやり取りもなく非接触でお買い物ができます。また、銀行口座と連携することで銀行や ATM に行かずにチャージすることができます。加盟店舗はネット環境と十八親和銀行の口座をお持ちであれば、特別な初期費用はかからず導入できること。アプリをご利用いただくことで、事業所からのお得な情報や地域の情報も入手できます。 利用されるユーザーに対して、「M I N A コイン」は複数ある支払方法の 1 つに過ぎませんので、デメリットはないと認識しています。加盟される店舗については、ネット環境などが必要になりますので、その様な場合には負担が必要になるかと思います。		

	事業の見直しについてのご意見をいただいておりますが、10 月には事業者向けの説明会を開催し、200 を超える事業所が参加をされ、アンケートの結果参加したくない旨の回答は 1.2%となっており、それ以外の事業所に関しては参加する方向で回答をいただいております。キャンペーンの内容についてもご理解いただいた上で、市内での資金循環拡大に向けて前向きにご準備いただいているところです。また、本事業は市、銀行、商工会、ミナサポと連携して事業を進めており、市内事業所の売上増、市内の資金循環拡大、市外からの資金獲得など、市内の商工業の活性化を大きな目的としているため、現段階での方向転換はございません。 ご提案いただきました件につきましては、今回コロナ対策として消費喚起を目的に 12 月 1 日から利用可能な『いーとばいチケット』を全市民に 1 人 5,000 円分ずつお配りさせていただいておりますのでご理解ください。
担当課	商工振興課